HP LP1965 19インチ、LP2065 20インチ、およびLP2465 24インチLCDモニタ

ユーザ ガイド

© 2005, 2006 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Microsoft、Windows、Windows NT、およびWindowsロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、また本書の適用の結果生じた間接損害を含めいかなる損害についても、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、現状有姿のままで提供されるもので、商品性または特定目的への適合性に関する黙示の保証などを含むいかなる保証も含みません。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett-Packard製品に対する保証は、当該製品に付属の限定的保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

本書には、著作権によって保護された所有権に関する情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、Hewlett-Packard Companyの書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他言語へ翻訳することはできません。

改訂第2版 2006年11月

製品番号：397376-293

このガイドについて

このガイドでは、モニタのセットアップ、ドライバのインストール、オンスクリーン ディスプレイ メニューの使用方法、トラブルの解決方法、およびモニタの仕様について説明します。

警告！ その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。

注意 その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

注記 重要な補足情報です。

目次

1 製品の特長

HP LP1965モデル、LP2065モデル、およびLP2465モデル 1

2 安全および保守に関するガイドライン

安全に関する重要な情報 3
保守に関するガイドライン 4
モニタの清掃 4
モニタの運搬 4

3 モニタのセットアップ

モニタ台の取り付け 5
背面の各部 6
信号コネクタおよびケーブルの選択 7
モニタの接続 8
モニタの調整 10
モニタの電源投入 12
USBデバイスの接続 13
アクセサリ レールの使用 14
モニタ台の取り外し 14
モニタの取り付け 15
製品ラベルの位置 17

4 モニタの操作

ソフトウェアおよびユーティリティ 19
情報ファイル 19
Image Color Matchingファイル 19
.INFおよび.ICMファイルのインストール 20
CDからのインストール 20
Webサイトからのダウンロード 20
自動調整機能の使用 21
フロント パネルの各部 22
モニタの設定の調整 23
オンスクリーン ディスプレイ メニューの使用 23
OSDメニューの選択 24
デジタル コンバージョンの最適化 27
HP Display Assistantユーティリティの使用 28

モニタの状態の確認 28
スリープ タイマ モード 29
HP Display LiteSaver 30
HP Display LiteSaverソフトウェアのインストール 30
sRGBのサポート 31
色温度の変更 31
Microsoft Windows 2000およびWindows XPへのsRGB ICMファイルのインストール 32

付録 A トラブルシューティング
一般的なトラブルの解決方法 33
インターネットWebサイト 34
お問い合わせになる前に 34

付録 B 技術仕様
LP1965モデル 37
LP2065モデル 38
LP2465モデル 39
プリセット ディスプレイ解像度について 40
ユーザ モードの使用 42
エナジー セーブ機能 42

付録 C 規定に関するご注意
Federal Communications Commission Notice（米国向け） 43
Modifications 43
Cables 43
Declaration of Conformity for Products Marked with the FCC Logo (United States Only) 43
Canadian Notice（カナダ向け） 44
Avis Canadien 44
European Union Regulatory Notice（欧州連合向け） 45
German Ergonomics Notice（ドイツ向け） 45
日本向け 45
Korean Notice（韓国向け） 45
電源コードの要件 46
日本国内での電源コードの要件 46
製品環境に関するご注意 46
有害物質の破棄 46
Disposal of Waste Equipment by Users in Private Household in the European Union（欧州連合向け） 46
製品の部材表示について 47

付録 D LCDモニタの品質およびピクセルに関する方針

1 製品の特長

HP LP1965モデル、LP2065モデル、およびLP2465モデル

フラット パネル モニタでは、アクティブ マトリクス方式の薄膜トランジスタ（TFT）液晶ディスプレイ（LCD）を採用しています。このモニタの特長は以下のとおりです。

- HP LP1965モデル：表示領域19インチ（対角長48.3 cm）の大型ディスプレイ、1280×1024の解像度以下でフル スクリーン サポート
- HP LP2065モデル：表示領域20.1インチ（対角長51 cm）の大型ディスプレイ、1600×1200の解像度以下でフル スクリーン サポート
- HP LP2465モデル：表示領域24インチ（対角長61 cm）の大型ディスプレイ、1920×1200の解像度以下でフル スクリーン サポート
- さまざまな角度から鮮明に見ることができる画面表示
- 縦長モードへのディスプレイ回転機能
- 画面の上下左右の向きおよび高さを調整可能
- 設置場所に応じて簡単に取り外しができるモニタ台およびVESA基準の10 cm間隔の取り付け穴
- DVIのアナログ信号およびデジタル信号によるビデオ入力のサポート
- DVI-I - VGAデジタル ビデオ（信号）ケーブル×2、DVI-Dデジタル ビデオ ケーブル×2が付属（LP2065モデルおよびLP2465モデル）
- DVI-I - VGAデジタル ビデオ（信号）ケーブル×1、DVI-Dデジタル ビデオ ケーブル×1が付属（LP1965モデルのみ）
- USB 2.0ハブ（アップストリーム ポート（コンピュータに接続）×1、ダウンストリーム ポート（USBデバイスに接続）×4）
- モニタのUSBハブとコンピュータのUSBコネクタを接続するUSBケーブルが付属
- モニタにHPスピーカ バーなどのオプション デバイスを取り付け可能なアクセサリ レール
- プラグ アンド プレイ機能（システムでサポートされる場合）
- 設定を簡単にし、画面の最適化を可能にする、画面表示（オンスクリーン メニュー）による画面調節機能（英語、オランダ語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、スペイン語）
- HP Display Assistant、Pivot Proソフトウェア、モニタ ドライバ ソフトウェア、および製品のマニュアルが含まれるSoftware and Documentation CD

- 低消費電力の環境要件に準拠したエナジー セーブ機能
- 資産管理
- 以下の規定に準拠
  - European Union CE Directives
  - Swedish MPR II 1990
  - Swedish TCO

2 安全および保守に関するガイドライン

安全に関する重要な情報

お使いのモニタには電源コードが付属しています。別のコードを使用する場合は、適切な電源および接続先のみを使用してください。モニタに接続する適切な電源コードについては、付録Cの「電源コードの要件」を参照してください。

警告！ 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

・必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。アース端子は、製品を安全に使用するために欠かせないものです。

・電源コードは、モニタの近くの手が届きやすい場所にあるアースされたコンセントに差し込んでください。

・製品への外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っ張らないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をする際の姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電気的/物理的安全基準についての情報も提供しています。『快適に使用していただくために』は、HPのWebサイト（http://www.hp.com/ergo/から[日本語]を選択します）から参照できます。また、モニタにDocumentation CD（ドキュメンテーションCD）が付属している場合はこのCDにも収録されています。

注意 モニタおよびコンピュータの保護のために、コンピュータおよび周辺装置（モニタ、プリンタ、スキャナなど）のすべての電源コードをマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ防止機能のあるサージ保安器に接続してください。すべてのマルチソケットがサージに対応しているわけではありません。サージ防止機能のあるマルチソケットをお使いになることをおすすめします。サージ防止に失敗した場合は機器を交換できるように、損傷交換ポリシを提供している製造販売元のマルチソケットを使用してください。

保守に関するガイドライン

モニタの性能を向上させ長く使い続けるために、以下のガイドラインに従ってください。

- モニタのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。このマニュアルに記載されている調整機能のみ使用してください。正常に動作しない場合や、モニタを落としたり破損したりした場合には、HPのサポート窓口にお問い合わせください。
- 外部電源は、モニタ裏面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- コンセントに接続する機器の定格電流の合計がコンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AMPSまたはA）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニタは、手が届きやすい場所にあるコンセントの近くに設置します。電源コードをコンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードを引っ張って抜かないでください。
- モニタを使用していないときには、モニタの電源を切るようにしてください。スクリーン セーバ プログラムを使用したり、モニタを使用していないときに電源を切るようにしたりすると、モニタを長くお使いいただけます。
- キャビネットのスロットや開口部は通気のために必要です。スロットや開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、異物を押し込んだりしないでください。
- モニタを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。
- モニタは通気のよい場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないようにします。
- モニタ台を取り外すときは、モニタの表面を傷つけたり、汚したり、破損したりしないように、表面が柔らかい場所にフロント パネルを下にして置いてください。

モニタの清掃

1. モニタとコンピュータ本体の電源を切ります。
2. モニタの電源コードをコンセントから外します。
3. モニタのプラスチック部分を、軽く湿らせた清潔な布で拭きます。
4. モニタの画面を、静電気防止用の市販のクリーナで清掃します。

△ **注意** ベンジン、シンナー、アンモニアなどの揮発性の溶剤を使ってモニタや画面を拭かないでください。このような化学薬品を使うと、キャビネット表面や画面が損傷することがあります。

モニタの運搬

モニタを運搬する場合は、モニタ出荷時の梱包箱および緩衝材、またはそれらと同等の材料を使用してしっかり梱包してください。

3　モニタのセットアップ

モニタをセットアップするには、モニタ、コンピュータ システム、およびコンピュータに接続されているその他の装置の電源が切られていることを確認してから、以下の手順で操作します。

注記　モニタの背面にある主電源スイッチがOFFの位置にあることを確認してください。主電源スイッチを切るとモニタのすべての電源がオフになります。

モニタ台の取り付け

注記　モニタを壁、スイング アーム、またはその他の固定器具に取り付ける場合は、モニタ台を取り付けずにこの章の「モニタの取り付け」を参照してください。

1. 両手を使ってモニタをモニタ台の上で持ちます。

   注意　LCDパネルの表面には触れないでください。パネルに圧力を加えると、色が不均一に表示されたり液晶が間違った向きで表示されたりすることがあります。このような状態になった場合、画面を元に戻すことはできません。

2. モニタをしっかりと押し下げて台を所定の位置に固定します。台が固定されるとカチッという音がします。

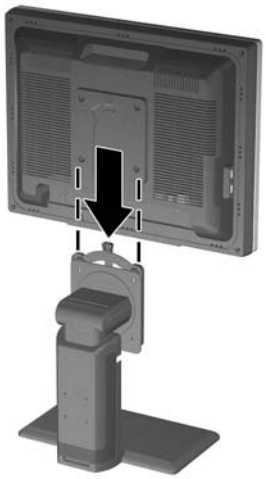


図 3-1　モニタ台へのモニタの取り付け

注記　セットアップを続ける前に、モニタ台がしっかりと固定されていることを確認します。

背面の各部

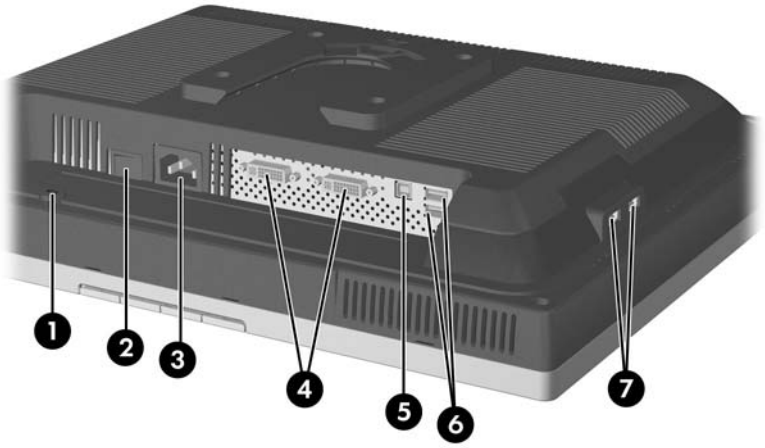


図 3-2 背面の各部

名称		機能
1	セキュリティ ロック ケーブル用スロット	セキュリティ ロック ケーブル用のスロットです
2	主電源スイッチ	モニタのすべての電源をオフにします
3	外部電源コネクタ	外部電源コードをモニタに接続します
4	DVI-Iコネクタ	DVI-I - VGAビデオ ケーブルまたはDVI-Dビデオ ケーブルをモニタに接続します
5	USBアップストリーム コネクタ	モニタのUSBハブをコンピュータのUSBポート/ハブに接続します
6	USBダウンストリーム コネクタ	別売のUSBデバイスをモニタに接続します
7	USBダウンストリーム コネクタ（サイド パネル）	別売のUSBデバイスをモニタに接続します

信号コネクタおよびケーブルの選択

このモニタには2つのDVI-Iコネクタがあり、アナログまたはデジタル入力をサポートします。

DVI-Iコネクタでサポートされるビデオ モードは、使用するビデオ ケーブルによって決定されます。

- デジタル操作の場合は、付属のDVI-Dビデオ ケーブルを使用します。DVI-Dビデオ ケーブルの一方の端をモニタのDVI-Iコネクタに接続し、もう一方の端をコンピュータのDVIコネクタに接続します。
- アナログ操作の場合は、付属のDVI-I - VGAビデオ ケーブルを使用します。DVI-I - VGAビデオ ケーブルの一方の端をモニタのDVI-Iコネクタに接続し、もう一方の端をコンピュータのVGAコネクタに接続します。

入力系統から、有効なビデオ信号がモニタ側で自動的に判別されます。ビデオ信号の入力を選択するには、フロント パネルにある入力選択ボタンを押してオンスクリーン ディスプレイ（OSD）機能を使用します。

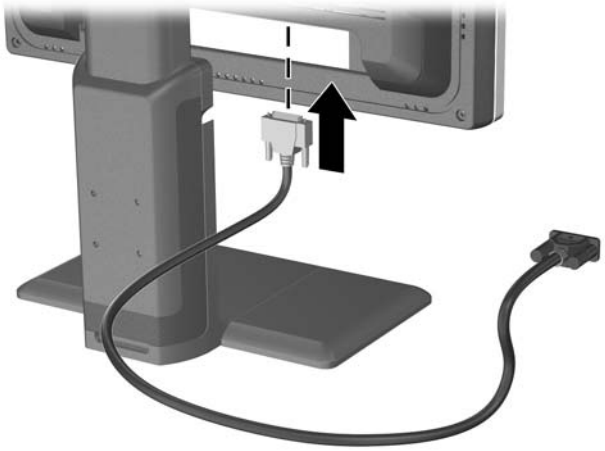


図 3-3 DVI-I - VGAビデオ ケーブルの接続

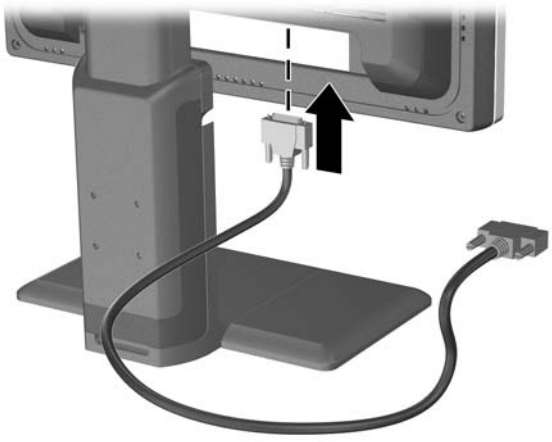


図 3-4 DVI-Dビデオ ケーブルの接続

モニタの接続

1. モニタを、作業がしやすく通気のよい、コンピュータの近くの場所に置きます。
2. USBハブ ケーブルの一方の端をコンピュータのリア パネルのUSBコネクタに接続して、もう一方の端をモニタのUSBアップストリーム コネクタに接続します。

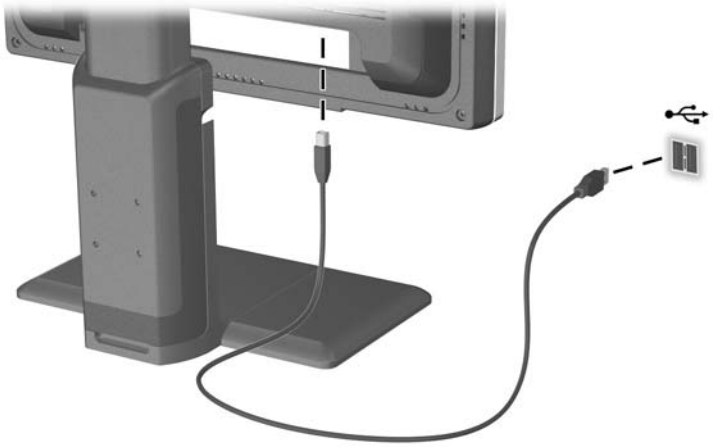


図 3-5 USBケーブルの接続

警告！ 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

・必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。アース端子は、製品を安全に使用するために欠かせないものです。

・電源コードは、モニタの近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに差し込んでください。

・装置への外部電源の供給を遮断するには、電源コードを電源コンセントから抜いてください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っ張らないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。

3. 電源ケーブルの一方の端をモニタの背面の外部電源コネクタに接続して、もう一方の端を電源コンセントに接続します。

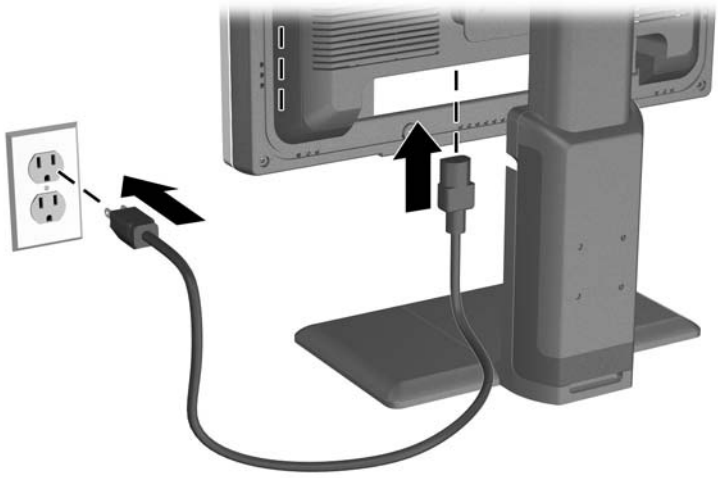


図 3-6 電源ケーブルの接続

4. モニタ台の背面のケーブル管理チャンネルに沿ってケーブルを取り付けます。

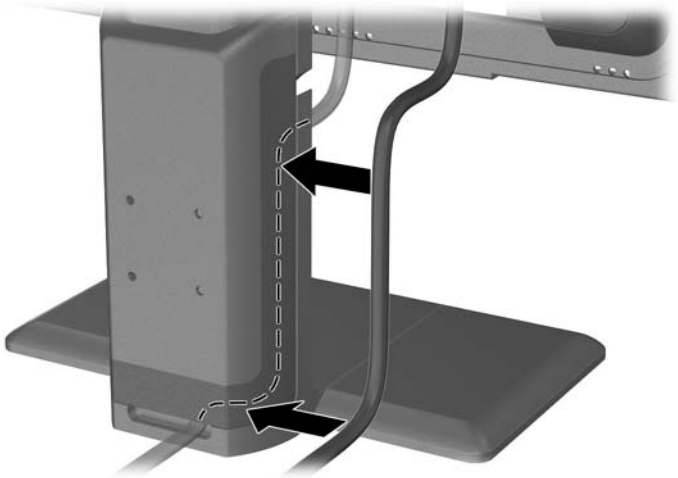


図 3-7 ケーブル管理機能の使用

モニタの調整

1. モニタのパネルを前または後ろに傾けて、見やすい位置に設定します。

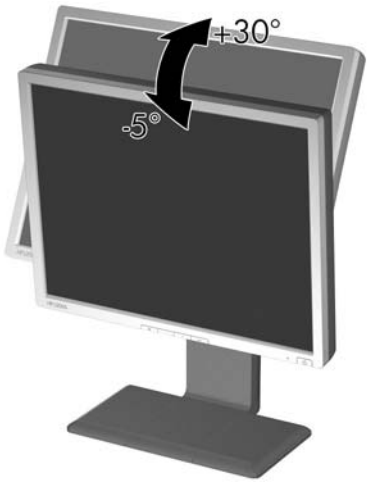


図 3-8 上下の向きの調節

注記 24インチ モデルでは、上方向に25°、下方向に5°まで傾けることができます。

2. モニタを左または右に回転させて、最適な表示角度に設定します。

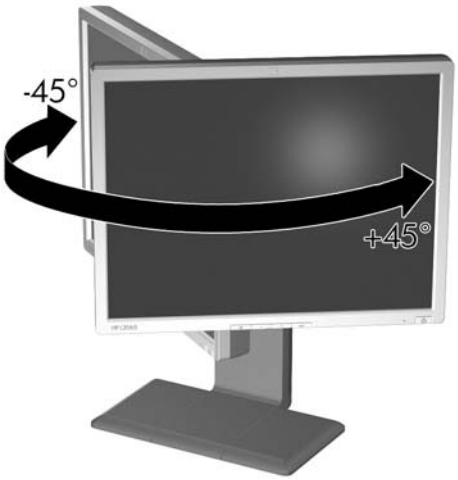


図 3-9 左右の向きの調整

3. モニタの高さを、目の高さに平行な見やすい位置に調整します。

警告！ 支柱の前面にあるロックダウン/リリース ボタンは、19インチ モデルのモニタ本体を持ち上げたときにモニタが上へスライドすることを防ぎます。モニタ本体が最も低い高さに固定されている場合は、以下の手順で操作します。

a. モニタが平らで安定した台の上に安全に設置されていることを確認します。

b. モニタ本体を軽く押し下げます。

c. モニタ本体を押し下げたまま、支柱の前面にあるロックダウン/リリース ボタンを押します。

d. モニタ本体を希望の高さまで持ち上げます。

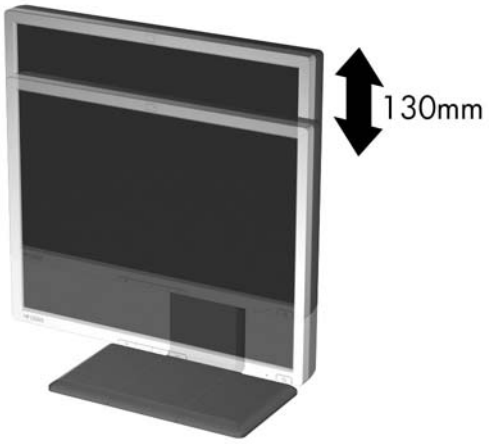


図 3-10 高さの調整（LP2065モデルおよびLP2465モデル）

注記 19インチ モデルでは、10 cmの範囲で高さを調整できます。

4. 必要に応じて、モニタの表示方向を横向きから縦向きに回転します。

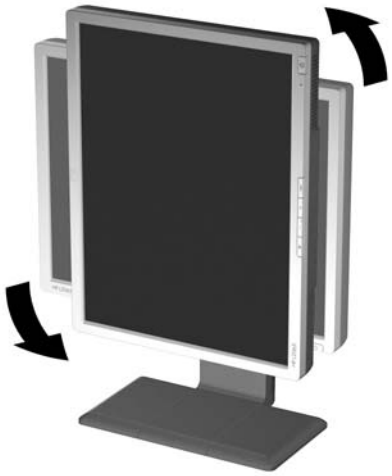


図 3-11 モニタの回転

注記 20インチ モデル（上の図）は反時計回りに回転します。19インチ モデルと24インチ モデルは時計回りに回転します。

情報を縦向きに表示するには、Software and Documentation CDに収録されているPivot Proソフトウェアをインストールする必要があります。

モニタの電源投入

1. 電源スイッチを押してコンピュータの電源を入れます。
2. モニタの背面にある主電源スイッチを押します。
3. モニタの前面にある電源ボタンを押します。

注意 モニタに長時間一定の画像を表示したままにしておくと、残像が表示されることがあります。*モニタ画面に残像が表示されないようにするには、常にスクリーン セーバ アプリケーションを有効に設定しておくか、長時間モニタを使用しないときはモニタの電源を切ります。残像はすべてのLCD画面で発生する可能性がありますが、一定の時間が経過すると自然に消えます。

*ここで長時間とは、使用されていない状態が12時間連続することを指します。

USBデバイスの接続

モニタにはサイド パネルおよびリア パネルに2つずつ、合計4つのUSBコネクタがあり、デジタル カメラ、USBキーボード、USBマウスなどのデバイスを接続するために使用されます。

注記 モニタのUSB 2.0ポートを有効にするには、USBハブ ケーブルをモニタからコンピュータに接続する必要があります。「モニタの接続」の手順2を参照してください。

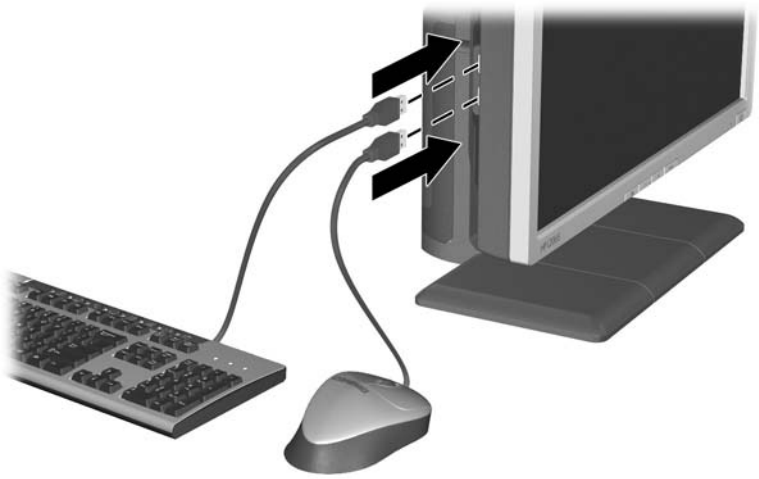


図 3-12 USBデバイスの接続

アクセサリ レールの使用

モニタの背面にはアクセサリ レールがあり、HPスピーカ バーなどのオプション デバイスをモニタに取り付けるために使用します。取り付け方法について詳しくは、お使いのオプション デバイスに付属の説明書を参照してください。

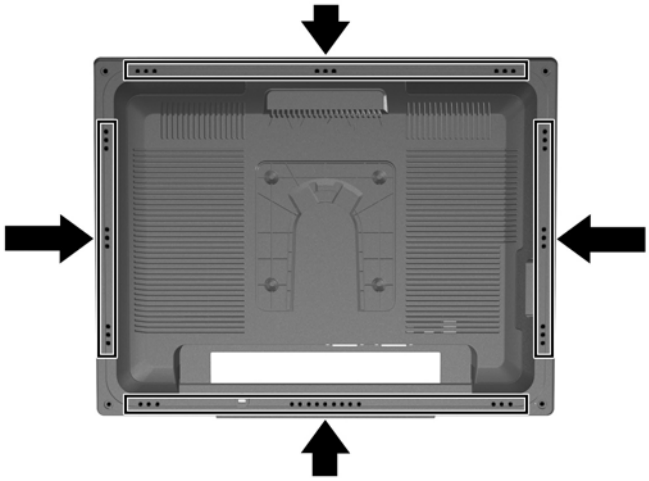


図 3-13 アクセサリ レールの使用

モニタ台の取り外し

モニタ パネルを壁、スイング アーム、またはその他の固定器具に取り付けるために、モニタ台からパネルを取り外すことができます。

このモニタはクイック リリース メカニズムを備えており、モニタ台からモニタ パネルを容易に取り外したり交換したりできます。

△ **注意** モニタの取り外し作業を始める前に、モニタの電源が切られていること、および電源ケーブルとビデオ ケーブルを取り外してあることを確認してください。モニタにオーディオ ケーブルが接続されている場合は取り外します。

1. モニタの背面からビデオ ケーブルおよび電源ケーブルを取り外します。
2. モニタ台のクイック リリース ラッチを、横（右側または左側のどちらか）にスライドさせます（**1**）。

3. モニタ本体をモニタ台から引き上げて取り外します（**2**）。

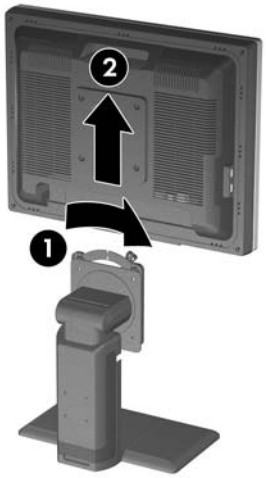


図 3-14 モニタのモニタ台からの取り外し

モニタの取り付け

HPクイック リリースをモニタ台から取り外し、固定器具に取り付けることができます。これにより、モニタ パネルを固定器具にすばやく、しっかりと接続することができます。

1. モニタ パネルをモニタ台から取り外します。前の項目の「モニタ台の取り外し」を参照してください。

> △ **注意** このモニタは、VESA準拠の10 cm間隔の取り付け穴をサポートします。このモニタに他社製の固定器具を取り付けるには、4 mm、0.7ピッチのネジ穴が4個ある器具で、長さ10 mmのネジ（モニタに付属していません）を使用する必要があります。これより長いネジは、モニタを損傷する恐れがありますので使用しないでください。また、取り付ける固定器具がVESA基準に準拠していることと、モニタのディスプレイ パネルの重量を支えられる仕様になっていることを確認してください。最適な状態で使用するには、モニタに付属の電源コードおよびビデオ ケーブルを使用してください。

2. 4つのネジを取り外して、モニタ台からクイック リリースを取り外します。

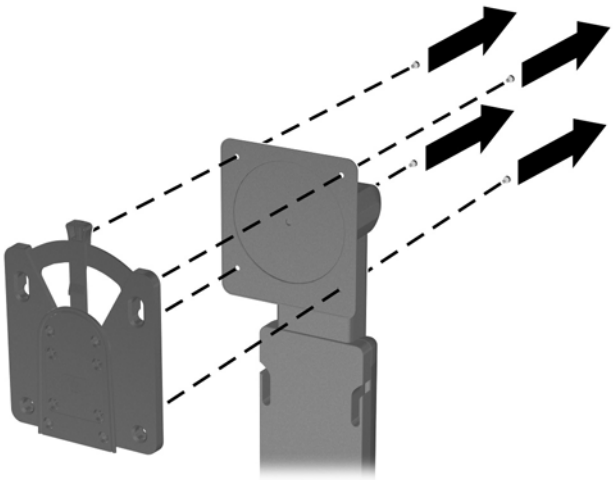


図 3-15 HPクイック リリースのモニタ台からの取り外し

3. 前の手順でクイック リリースから取り外した4つのネジを使用して、クイック リリースをスイング アームまたはその他の固定器具に取り付けます。

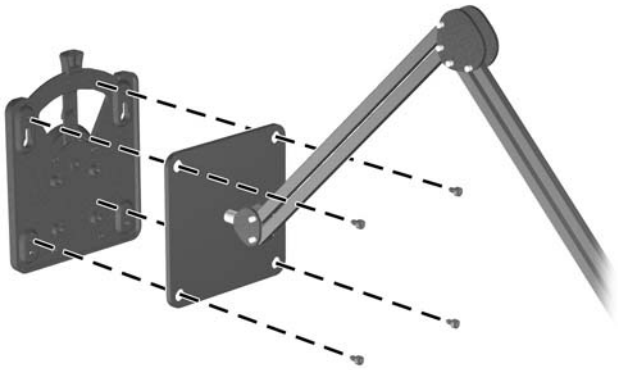


図 3-16 クイック リリースの取り付け

△ **注意** クイック リリースを直接壁に取り付けてモニタのパネルを取り付けることもできます。クイック リリースは、最大10.9 kgの重量を支えられるように設計されています。壁に取り付ける場合は、必要なネジの種類や数の判断、および実際の重量を支えられるように正しく取り付けられているかどうかの確認について、工学分野または建築学分野の資格を持つ技術者に相談することをおすすめします。

4. モニタ パネルをクイック リリースに差し込み、モニタをしっかりと押し下げて所定の位置に固定します。クイック リリースが固定されるとカチッという音がします。

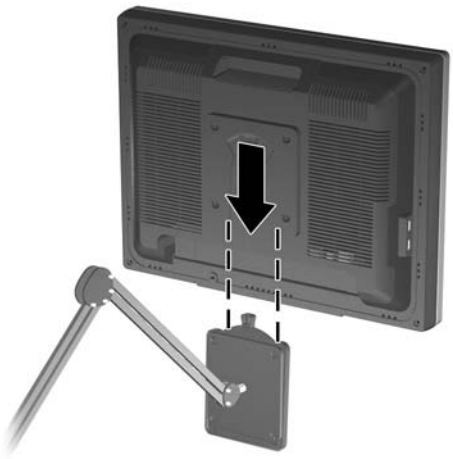


図 3-17 モニタ パネルのクイック リリースへの取り付け

製品ラベルの位置

モニタの製品ラベルには交換部品番号、製品番号、およびシリアル番号が記載されています。お使いのモデルのモニタについてHPにお問い合わせになるときに、これらの番号が必要になる場合があります。製品ラベルはモニタ本体の背面部分にあります。

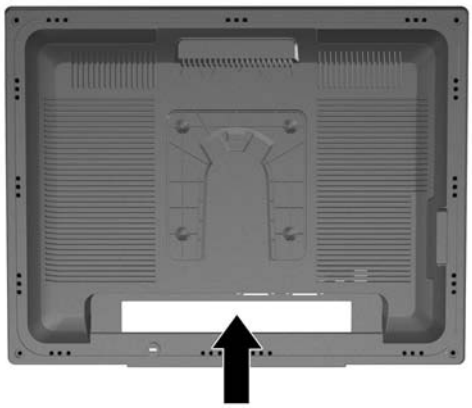


図 3-18 製品ラベルの位置

4　モニタの操作

ソフトウェアおよびユーティリティ

モニタ付属のCDには、コンピュータにインストール可能な以下のファイルが収録されています。

- .INF（情報）ファイル
- .ICM（Image Color Matching）ファイル
- 自動調整用パターン ユーティリティ
- モニタ モデルごとのその他のソフトウェア

Adobe ReaderはこのCDに収録されており、メニューからインストールできます。

注記　モニタにCDが付属していない場合は、.INFおよび.ICMファイルをHPモニタ サポートWebサイトからダウンロードすることができます。この章の「Webサイトからのダウンロード」を参照してください。

情報ファイル

.INFファイルは、モニタとお使いのコンピュータのグラフィックス アダプタとの互換性を確保するために、Microsoft® Windows®オペレーティング システムが使用するモニタ リソースを定義します。

このモニタはMicrosoft Windowsプラグ アンド プレイ機能に対応しており、.INFファイルをインストールしなくても正常に動作します。モニタのプラグ アンド プレイ機能を利用するには、コンピュータのグラフィック カードがVESA DDC2に準拠しており、モニタが直接グラフィック カードに接続されている必要があります。BNC分岐コネクタまたは分配バッファ/分配ボックスを通して接続されている場合、プラグ アンド プレイ機能は利用できません。

Image Color Matchingファイル

.ICMファイルはグラフィックス プログラムとともに使用されるデータ ファイルで、モニタとプリンタ間またはスキャナとモニタ間の色調を調整します。このファイルにはモニタのカラー システム プロファイルが含まれており、プロファイルをサポートするグラフィックス プログラムの実行時に有効になります。

注記　.ICMのカラー プロファイルは、ICC（International Color Consortium）のプロファイル形式の仕様に基づいて記述されています。

.INFおよび.ICMファイルのインストール

.INFおよび.ICMファイルを更新する必要がある場合は、これらのファイルをCDからインストールするか、Webサイトからダウンロードできます。

CDからのインストール

.INFおよび.ICMファイルをCDからコンピュータにインストールするには、以下の手順で操作します。

1. CDをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。CDメニューが表示されます。
2. **[Monitor Driver Software Readme]**（モニタ ドライバ ソフトウェアのReadme）ファイルを読みます。
3. **[Install Monitor Driver Software]**（モニタ ドライバ ソフトウェアをインストールする）を選択します。
4. 画面の説明に沿って操作します。
5. ソフトウェアがインストールされたら、Windowsを再起動します。
6. Windowsの[画面のプロパティ]に適切な解像度およびリフレッシュ レートが表示されていることを確認します。

注記 インストール時にエラーが発生した場合は、デジタル署名されているモニタの.INFおよび.ICMファイルを手動でインストールする必要があります。CDの[Monitor Driver Software Readme]ファイルを参照してください。

Webサイトからのダウンロード

最新のバージョンの.INFおよび.ICMファイルをHPモニタ サポートWebサイトからダウンロードするには、以下の手順で操作します。

1. http://www.hp.com/support/にアクセスし、国または地域を選択します。
2. [ドライバ&ソフトウェアをダウンロードする]を選択してお使いの製品名などを[検索対象]ボックスに入力し、[>>]ボタンをクリックしてサポート ページおよびダウンロード ページへのリンクをクリックします。
3. システムがインストール要件を満たしていることを確認します。
4. 画面の説明に沿って、ソフトウェアをダウンロードします。

自動調整機能の使用

モニタの**ー（マイナス）/自動**ボタンおよび付属のCDに収録されている自動調整用パターン ソフトウェア ユーティリティを使用して、VGA（アナログ）入力対応の画面の画質を最適化します。

お使いのモニタがDVI入力対応の場合は、この手順を行わないでください。お使いのモニタがVGA（アナログ）入力対応の場合は、この手順を行うことで次の画質状況が修正されます。

- ぼやけて不明瞭な焦点
- ゴースト、線および影の表示
- 薄い縦線
- 画面上を上下に移動する横線
- 画面の中央に表示できない画像

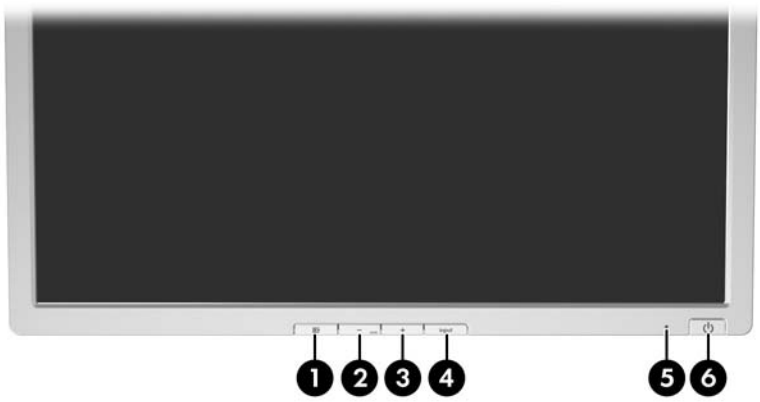
自動調整機能を使用するには、以下の手順で操作します。

1. モニタの電源を入れてから20分間のウォーム アップ時間をとります。
2. モニタのフロント パネルにあるー（マイナス）/自動ボタンを押します。
   - メニュー/選択ボタンを押し、OSD（オンスクリーン ディスプレイ）メイン メニューから**[Auto Adjustment]**（自動調整）を選択することもできます。この章の「モニタの設定の調整」を参照してください。
   - 希望する結果が得られない場合は、引き続き以下の手順で操作します。
3. CDをディスク ドライブに挿入します。CDメニューが表示されます。
4. **[Open Auto-Adjustment Software]**（自動調整ソフトウェアを開く）を選択します。セットアップのためのテスト パターンが表示されます。
5. モニタのフロント パネルにあるー（マイナス）/自動ボタンをを押して、画像を安定させ中央に表示します。
6. ESCキーまたはキーボードの任意のキーを押して、テスト パターンを終了します。

フロント パネルの各部

表 4-1 モニタのフロント パネルの各部

名称		機能
1	メニュー/選択	OSD（オンスクリーン ディスプレイ）メニューを表示したり、項目を選択したり、メニューを終了したりします
2	−（マイナス）/自動	• メニューの項目間を逆方向に移動したり調整レベルを下げたりできます • OSDメニューが表示されていないときに押すと、自動調整機能が有効になり画面表示を最適化できます
3	＋（プラス）	メニューの項目間を順方向に移動したり調整レベルを上げたりできます
4	入力選択	ビデオ入力（DVI-I #1またはDVI-I #2）を選択します
5	電源ランプ	電源が入っている状態：緑色 スリープ モード：オレンジ色 スリープ タイマ モード：オレンジ色で点滅
6	電源	モニタのオン/オフを切り替えます



モニタの設定の調整

オンスクリーン ディスプレイ（OSD）またはHP Display Assistantユーティリティを使用して、モニタの設定を調整することができます。

オンスクリーン ディスプレイ メニューの使用

オンスクリーン ディスプレイ（OSD）を使用して、ユーザの好みに応じて画面表示を調整します。OSDにアクセスするには、以下の手順で操作します。

1. モニタの電源が入っていない場合は、電源ボタンを押してモニタの電源を入れます。
2. OSDのメニューにアクセスするには、モニタのフロント パネルにあるメニュー/選択ボタンを押します。

3. OSDメニュー内を移動するには、モニタのフロント パネルにある＋（プラス）ボタンを押して上にスクロールするか、－（マイナス）/自動ボタンを押して反対方向にスクロールします。
4. OSDメニューから項目を選択するには、＋ボタンか－ボタンでスクロールして選択する項目を強調表示させ、メニュー/選択ボタンを押して機能を選択します。
5. フロント パネルの＋ボタンか－ボタンを押してスケールを調整します。
6. 機能を調整したら**[Save and Return]**（保存して戻る）を選択するか、設定を保存しない場合は**[Cancel]**（キャンセル）を選択し、**[Main Menu]**（メイン メニュー）から[Exit]（終了）を選択します。

注記　メニューが表示されているときに10秒以上ボタンを押さない場合、調整が無効になり、以前の設定に戻ってメニューが終了します。

OSDメニューの選択

次の表で、オンスクリーン ディスプレイ（OSD）のメニュー項目と各機能について説明します。OSDのメニュー項目を変更した後、メニュー画面に次のオプションが表示される場合は、どれかを選択します。

- **[Cancel]**（キャンセル）：前のメニュー レベルに戻ります。
- **[Save and Return]**（保存して戻る）：すべての変更を保存して、OSDメイン メニューの画面に戻ります。この[Save and Return]オプションはメニュー項目を変更した場合にのみ有効です。
- **[Reset]**（リセット）：前の設定に戻ります。

表 4-2 OSDメニュー

アイコン	メイン メニュー	サブメニュー	説明
	Brightness（輝度）		画面の輝度を調整します。工場出荷時のデフォルト値は、モデルに応じて50または90です
	Contrast（コントラスト）	調整用スケール	画面のコントラスト レベルを調整します。工場出荷時のデフォルト値は80です
	Image Control（イメージ コントロール）		画像を調整します
		Auto Adjustment（自動調整）	画像を自動的に調整します
		Horizontal Position（水平表示位置）	画像の左右の位置を調整します
		Vertical Position（垂直表示位置）	画像の上下の位置を調整します
		Custom Scaling（カスタム スケール）（LP1965モデルでは使用不可）	モニタへの情報の表示方法を選択します。以下のどれかの方法を選択します • Fill to Screen（スクリーンに合わせる）：画像が画面全体を占め、高さと幅が不均等なため歪んだり引き伸ばしたように見えたりします • Fill to Aspect Ratio（縦横比に合わせる）：画像が画面に合うように調整されて、均等な画像表示を維持します • One-to-one（一対一）：ビデオ スケーリングを無効にして、画面の表示可能領域の中央に、表示可能サイズよりさらに小さい画像を表示します
		Sharpness（シャープネス）（LP1965モデルでは使用不可）	画面の画像をより鮮明にまたはソフトに調整します **注記** [One-to-one]カスタム スケール メニューが選択されている場合は、スケール機能および[Sharpness]機能は無効になります
		Clock（クロック）	画面背景に表示される縦線や縞模様を最小限に抑えます。[Clock]を調整することで、画像の水平表示も変更されます
		Clock Phase（クロック フェーズ）	画面の焦点を調整します。これにより、水平ノイズが取り除かれ、文字の表示が鮮明になります

表 4-2 OSDメニュー (続き)

アイコン	メイン メニュー	サブメニュー	説明
	Color（色）		画面の色を選択します。工場出荷時のデフォルト値は、モデルに応じて6500 Kまたはカスタム カラーです
		9300 K	わずかに青味を帯びた白色に変更します
		6500 K	わずかに赤味を帯びた白色に変更します
		Custom Color（カスタム カラー）	カラー スケールを選択および調整します • R：赤色のレベルを設定します • G：緑色のレベルを設定します • B：青色のレベルを設定します
		sRGB	画面の色をイメージ テクノロジ業界で使用される規格に準拠した色に設定します
	Language（言語）		OSDメニューを表示する言語を選択します。工場出荷時のデフォルト設定言語は英語です
	Management（マネジメント）		モニタの電源管理機能を調整します
		Power Saver（省電力）	省電力機能を有効にします。次のうちどちらかを選択します • On（オン） • Off（オフ） 工場出荷時のデフォルト設定はオンです
		Power On Recall（再開時に電源オン）	予期せず電源がオフになった後にモニタへの電力を復旧します。次のうちどちらかを選択します • On（オン） • Off（オフ） 工場出荷時のデフォルト設定はオンです
		Mode Display（モード表示）	OSDメイン メニューを表示するたびに、解像度、リフレッシュ レートおよび周波数の情報を画面に表示します。次のうちどちらかを選択します • On（オン） • Off（オフ） 工場出荷時のデフォルト設定は、モデルに応じてオンまたはオフです
		Power-On Status Display（電源オンのステータス表示）	モニタの電源がオンになるたびに、モニタの動作状況を表示します。ステータスの表示位置を次の中から選択します • Top（上） • Middle（中） • Bottom（下） • Off（オフ）

表 4-2 OSDメニュー (続き)

アイコン	メイン メニュー	サブメニュー	説明
			工場出荷時のデフォルト設定は、モデルに応じてオンまたはオフです
		DDC/CI Support（DDC/CIサポート）	コンピュータで、輝度、コントラスト、色温度などの一部のOSDメニュー機能を制御できるようにします。次のうちどちらかを選択します • On（オン） • Off（オフ） 工場出荷時のデフォルト設定はオンです
		Sleep Timer（スリープ タイマ）	タイマ調整のメニュー オプションを表示します • Set Current Time（現在時刻の設定）：時間と分単位で現在の時刻を設定します • Set Sleep Time（電源オフの時刻の設定）：モニタがスリープ モードに入る時刻を設定します • Set on Time（電源オンの時刻の設定）：スリープ モードから復帰する時刻を設定します • Timer（タイマ）：スリープ タイマ機能のオン/オフを設定します。デフォルトの設定はオフです • Sleep Now（スリープ モードの実行）：直ちにモニタがスリープ モードに入るように設定します
	OSD Control（OSDコントロール）		画面上のOSDメニューの位置を調整します
		Horizontal Position（水平表示位置）	OSDメニューの表示位置を画面内の左右に移動します。工場出荷時のデフォルト値は50です
		Vertical Position（垂直表示位置）	OSDメニューの表示位置を画面内の上下に移動します。工場出荷時のデフォルト値は50です
		OSD Timeout（OSDタイムアウト）	ボタンを押してからOSDが表示され続ける時間の長さを秒単位で設定します。工場出荷時のデフォルト値は30秒です
		OSD Transparency（OSD透明度）	OSDの背景にある情報を表示するよう調整します
	Information（情報）		モニタに関する重要な情報を選択/表示します
		Current Settings（現在の設定）	現在のビデオ入力モードを表示します
		Recommended Settings（推奨設定）	お使いのモニタに推奨される解像度モードおよびリフレッシュレートを表示します
		Serial Number（シリアル番号）	モニタのシリアル番号を表示します。シリアル番号はHPのテクニカル サポートにお問い合わせになる場合に必要となります
		Version（バージョン）	モニタのファームウェア バージョンを表示します
		Backlight hours（バックライト動作時間）	バックライトの合計の動作時間を表示します

表 4-2 OSDメニュー (続き)

アイコン	メイン メニュー	サブメニュー	説明
	Video Input Control（ビデオ入力コントロール）		モニタが2つの有効なビデオ ソースに接続されている場合に、デフォルトまたは最優先されるビデオ入力信号を選択します。ビデオ方式は自動的に判断されます。デフォルトの入力方式はDVIです
		DVI-I#1	DVI-I 1入力を選択します。この入力はアナログ信号またはデジタル信号のどちらも受け付けます
		DVI-I#2	DVI-I 2入力を選択します。この入力はアナログ信号またはデジタル信号のどちらも受け付けます
		Disable Input Auto-Switching（入力自動切り換え無効）	モニタのビデオ入力の選択を現在の設定のままにします。このメニュー選択は、ビデオ入力コントロールが[Enable Input Auto-switching]（入力自動切り換え有効）に設定されている場合に表示されます
		Enable Input Auto-switching（入力自動切り換え有効）	モニタのビデオ入力をデフォルトの自動切り替えモードに自動的に戻します。このメニュー選択は、ビデオ入力コントロールが[Disable Input Auto-Switching]に設定されている場合に表示されます
	Factory Reset（出荷時設定にリセット）		すべてのOSDメニュー設定および電源オンのステータス表示設定（LP2465モデルの場合）を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。ただし、言語設定および電源オンのステータス表示設定（LP1965モデルおよびLP2065モデルの場合）は除きます
	Exit（終了）		OSDメニュー画面を終了します

デジタル コンバージョンの最適化

このモニタには、フラット パネルの最新の回路が搭載されており、標準のモニタと同じような機能を備えています。OSDメニューの[Clock]（クロック）および[Clock Phase]（クロック フェーズ）を調節して、画質を向上させることができます。

注記 [Clock]および[Clock Phase]機能はアナログ入力を使用している場合にのみ調整できます。デジタル入力ではこれらの機能は調整できません。

[Clock Phase]の設定は[Clock]の設定に影響されるので、最初に[Clock]を正しく設定しておく必要があります。自動調整機能を使用しても希望する画質が得られない場合にのみこれらの機能を使用してください。

- **[Clock]**：画面に表示される縦線や縞模様を最小限に抑えます。
- **[Clock Phase]**：画像の歪みまたはぶれを最小限に抑えます。

注記 これらの調整を行う場合は、自動調整用のソフトウェア ユーティリティを使用すると最適な結果が得られます。

[Clock]および[Clock Phase]の設定値を調整しているときにモニタの画像が歪む場合は、歪みがなくなるまで調整を続けます。工場出荷時の設定に戻すには、OSDメニューの[Factory Reset]（出荷時設定にリセット）から[Yes]（はい）を選択します。

HP Display Assistantユーティリティの使用

HP Display AssistantはSoftware and Documentation CDに収録されているソフトウェア ユーティリティで、わかりやすい操作手順およびモニタの調整機能ごとの画面パターンにより、設定の調整を可能にします。HP Display Assistantでは、次の機能が使用できます。

- 操作手順のウィザードを使用した正確な画面調整（画質を全体的に最適な状態にします）
- ソフトウェアによるモニタ画像および色の設定（モニタのフロント パネルのボタンとオンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューでの設定に依存する必要がなくなります）
- マルチユーザ環境でのユーザ別に定義済みの、プリセット ディスプレイ設定
- 表示内容および周辺光に基づいた、シングル ユーザ向けの複数のプリセット ディスプレイ設定
- 資産管理および電源管理の機能（中央コンソール アプリケーションによる、ドメイン上の個々または複数のディスプレイのリモート制御を含みます）

HP Display Assistantユーティリティには2つの操作モード（ウィザード モードおよびOSDモード）があります。手順に沿った操作で正確な画面調整を行える、ウィザード モードの使用をおすすめします。この操作モードは一連の手順で構成されており、手順の完了とともに画面が最適な状態に設定されます。

注記 このソフトウェアについて詳しくは、HP Display Assistantのユーザ ガイドを参照してください。

モニタの状態の確認

モニタが以下の状態になると、特別なメッセージがモニタ画面に表示されます。

- **[Input Signal Out of Range— Change resolution setting to 1280 x 1024 - 60 Hz]**（LP1965 19インチ モデルの場合）、**[Change resolution setting to 1600 x 1200 - 60 Hz]**（LP2065 20インチ モデルの場合）、または**[Input Signal Out of Range— Change resolution setting to 1920 x 1200 - 60 Hz]**（LP2465 24インチ モデルの場合）：解像度およびリフレッシュ レートがモニタでサポートされる範囲より高く設定されているため、モニタが入力信号をサポートできないことを示します。
- **[No Input Signal]**：モニタがビデオ入力コネクタでコンピュータからのビデオ信号を受信していないことを示します。コンピュータまたは入力信号ソースがオフまたは省電力モードになっていないか確認してください。
- **[Multiple Inputs are Active— Use the OSD to select the desired video input]**：モニタが2つのビデオ入力に接続されていることを示します。両方の入力の表示が試みられますが、10秒後にデフォルトの信号入力が使用されます。
- **[Auto Adjustment is in Progress]**：自動調整機能が有効であることを示します。
- **[Monitor Going to Sleep]**：モニタがスリープ モードになることを示します。

- **[Check Video Cable]**：ビデオ ケーブルがコンピュータに正しく接続されていないことを示します。
- **[OSD Lock]**：フロント パネルにあるメニュー ボタンを10秒間押し続けると、オンスクリーン ディスプレイ（OSD）を有効または無効にすることができます。OSDをロックすると、**[OSD Lock-Out]**という警告メッセージが10秒間表示されます。
  - OSDがロックされている場合、ロックを解除するにはメニュー ボタンを10秒間押し続けます。
  - OSDのロックが解除されている場合、ロックするにはメニュー ボタンを10秒間押し続けます。

スリープ タイマ モード

スリープ タイマ モードは、毎日同じ時刻にモニタの電源を入れたり切ったりするように設定できる省電力機能です。この省電力機能を使用すると、モニタのバックライトの寿命を延ばすことができます。スリープ タイマ モードには5つの設定があります。

- Set Current Time（現在時刻の設定）
- Set Sleep Time（電源オフの時刻の設定）
- Set On Time（電源オンの時刻の設定）
- Timer: On/Off（タイマ：オン/オフ）
- Sleep Now（スリープ モードの実行）

タイマを設定するには、以下の手順で操作します。

1. モニタのフロント パネルのメニュー ボタンを押してメニュー レベル1を表示します。[Basic Menu]（基本メニュー）が表示されている場合は手順2に、[Advanced Menu]（拡張メニュー）が表示されている場合は手順3に進みます。
2. メニューを下に移動して**[Management]**（マネジメント）を強調表示します。
3. メニュー ボタンを押して**[Management]**を選択します。
4. メニューを下に移動して**[Sleep Timer]**（スリープ タイマ）→**[Set Current Time]**（現在の時刻の設定）の順に強調表示し、選択します。

   注記　必ず現在の時刻をあらかじめ設定しておいてから**[Sleep Time]**（電源オフの時刻）や**[ON Time]**（電源オンの時刻）を設定してください。時刻は24時間単位で表示されます。たとえば、午後1時15分は13時15分と表示されます。

5. メニュー ボタンを一度押すと調整モードとなり、時間が点滅します。
6. －（マイナス）ボタンおよび＋（プラス）ボタンを使って時間を設定します。
7. メニュー ボタンを再度押すと、分が点滅します。
8. －（マイナス）ボタンおよび＋（プラス）ボタンを使って分を設定します。
9. メニュー ボタンを押すと、設定した時刻が確定します。

10. 現在時刻を設定すると、自動的に**[Set Sleep Time]**（電源オフの時刻の設定）へスキップし、時間が強調表示され点滅します。手順6～9を繰り返し行って電源オフの時刻を調整します。

11. 電源オフの時刻を設定しない場合は、メニュー ボタンを2回押し、**[Save and Return]**（保存して戻る）を選択してメニューを終了します。

12. 電源オフの時刻を設定すると、自動的に**[Set On Time]**（電源オンの時刻の設定）へスキップし、時間が強調表示され点滅します。手順6～9を繰り返し行って電源オンの時刻を調整します。

13. **[Timer]**（タイマ）のモードを**[ON]**（オン）に設定し、スリープ タイマの設定を起動します。

14. 設定が完了したら、**[Save and Return]**を押してメニューを終了します。

5番目の選択項目**[Sleep Now]**（スリープ モードの実行）を選択すると、モニタのバックライトがオフになり、スリープ モードになります。設定した電源オンの時刻になるか、またはモニタ ボタンを押すと、電源がオンになります。

HP Display LiteSaver

HP Display LiteSaverは、モニタの寿命を延ばし、省電力を実現するためのソフトウェア アプリケーションで、付属のCDに収録されています。このソフトウェアを使用すると、大部分の内部回路への電源供給を停止または供給量を削減することによって、あらかじめ設定した時間にモニタを省電力スリープ モードに移行できます。これは、画像の焼き付きからLCDパネルを保護するために役立ちます。画像の焼き付きは、モニタに長時間同じ画像を表示したまま放置しておいたときに、画面上に残像が形成されて発生します。

HP Display LiteSaverソフトウェアのインストール

1. CDをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。CDのメニューが表示されます。

2. **[HP Display LiteSaverソフトウェアのインストール]**を選択します。

3. ソフトウェアがインストールされたら、Windowsシステム トレイの**[HP Display LiteSaver]**アイコンをクリックするか、またはアイコンを右クリックしてポップアップ メニューから**[Configure]**（設定）を選択します。

4. 以下のオプションを選択して、HP Display LiteSaverの機能を設定します。

表 4-3 HP Display LiteSaverの設定オプション

オプション	機能
Enable Display LiteSaver（Display LiteSaverの有効化）	HP Display LiteSaverの機能を有効にします。HP Display LiteSaverを無効にするには、選択を解除します
Display Off（ディスプレイの電源切断）	モニタの電源を自動的に切る時間を設定します。このオプションは、スクリーン セーバの動作には影響しません。HP Display LiteSaverよりスクリーン セーバの方が優先されます
Display On（ディスプレイの電源投入）	モニタの電源を自動的に入れる時間を設定します。このオプションは、スクリーン セーバの動作には影響しません。HP Display LiteSaverよりスクリーン セーバの方が優先されます
Activity Extension（動作延長）	Display Off時間に達した後で何らかのキーボードまたはマウス操作が行われた場合に、モニタの電源を切るまでの時間を分単位で設定します。キーボードまたは

表 4-3 HP Display LiteSaverの設定オプション (続き)

オプション	機能
	マウスが使用されている場合は、再度モニタの電源を切る前に、HP Display LiteSaverは設定された時間が経過するまで待機します。このオプションを無効にするには、0を設定します。このオプションが無効になっていると、キーボードまたはマウス操作には関係なく、Display Off時間に達するとすぐにモニタの電源が切れます
Show 1 minute Display Off Notice（ディスプレイの電源切断1分前に通知を表示）	HP Display LiteSaverによりモニタの電源が切れる1分前に、システム トレイにポップアップ メッセージを表示します
Status（ステータス）	HP Display LiteSaverにより次にモニタの電源が切れるまでの時間を表示します
OK	現在の設定を保存し、HP Display LiteSaverをシステム トレイに最小化します
Cancel（キャンセル）	以前の設定に戻し、HP Display LiteSaverをシステム トレイに最小化します。HP Display LiteSaverは引き続き作動します
Help（ヘルプ）	ヘルプ ファイルを開きます
Exit（終了）	HP Display LiteSaverを終了します。次に起動されるまで、モニタ電源の制御は行われません

HP Display LiteSaverの設定方法について詳しくは、CDに収録されている[HP Display LiteSaverのReadme]を参照してください。

sRGBのサポート

お使いのモニタは、色管理の技術としてsRGBをサポートするように設計されています。sRGBはイメージ テクノロジ業界で使用される色の規格に準拠しています。

sRGBのサポートを活用するには、モニタの色温度をsRGBに変更し、sRGBカラー プロファイル（ICM）のファイルをインストールする必要があります。

注記 色温度を内蔵のsRGBに設定するとコンピュータのモニタに表示されるsRGB画像の色の精度が向上しますが、それでも色が正しく再現されない場合があります。

色温度の変更

1. モニタのフロント パネルにあるメニュー ボタンを押して、OSDの**[Main Menu]**（メイン メニュー）を表示します。
2. **[Advanced Menu]**（拡張メニュー）を選択して、**[Main Menu]**内のすべてのオプションを表示します。
3. **[Color]**（色）を選択して、**[Color Temperature]**（色温度）メニューを表示します。
4. **[sRGB]**を選択します。
5. **[Save and Return]**（保存して戻る）を選択してメニューを終了します。

Microsoft Windows 2000およびWindows XPへのsRGB ICMファイルのインストール

注記　以下の手順を完了するには、管理者または管理者グループのメンバとしてログインしている必要があります。コンピュータがネットワークに接続されている場合、ネットワーク ポリシーの設定によりこの手順を完了できないことがあります。sRGB ICMファイルは、Windows 95およびWindows NT®ではサポートされていません。

1. [コントロール パネル]の**[画面]**アイコンをクリックします。
2. **[画面のプロパティ]**ウィンドウで、**[設定]**タブを選択して**[詳細]**（Windows XPでは[詳細設定]）ボタンをクリックします。
3. **[色の管理]**タブを選択してから、**[追加]**ボタンをクリックして**[プロファイルの関連付けを追加]**ダイアログ ボックスを開きます。
4. **[sRGB Color Space Profile.icm]**ファイルを選択して、**[追加]**ボタンをクリックします。
5. お使いのモニタ用のカラー プロファイルをアクティブにするには、デフォルトのモニタ プロファイルとして設定する必要があります。**[sRGB Color Space Profile]**を選択して、**[既定値に設定]**をクリックします。
6. **[適用]**または**[OK]**をクリックします。

A　トラブルシューティング

一般的なトラブルの解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

トラブル	原因	解決方法
画面に何も表示されない	電源コードが外れている	電源コードを接続します
	モニタのフロント パネルにある電源スイッチがオフになっている	フロント パネルの電源ボタンを押します
	モニタのリア パネルにある主電源スイッチがオフになっている	主電源スイッチをオンにします
	ビデオ ケーブルが正しく接続されていない	ビデオ ケーブルを正しく接続します。詳しくは「第3章 モニタのセットアップ」を参照してください
	画面表示を消すユーティリティが有効になっている	キーボードの任意のキーを押すかマウスを動かして、画面表示を消すユーティリティを無効にします
画像がぼやけている、不鮮明、または暗すぎる	輝度およびコントラストの設定が低すぎる	モニタのフロント パネルの－（マイナス）/自動ボタンを押します。それでも画質が改善されない場合は、メニュー ボタンを押してOSDの基本メニューを開き、必要に応じて輝度およびコントラストのスケールを調整します
画像が中央に表示されない	位置を調整する必要がある	メニュー ボタンを押してOSDメニューを表示します。[Image Control]（イメージ コントロール）の[Horizontal Position]（水平表示位置）または[Vertical Position]（垂直表示位置）を選択して、画像の水平位置または垂直位置を調整します
[Check Video Cable]と画面に表示される	モニタのビデオ ケーブルが外れている	DVI-Dビデオ ケーブルをコンピュータのDVI-Iコネクタに、またはVGA - DVI-Iケーブルをコンピュータの DVI-Iコネクタに接続します。ビデオ ケーブルを接続するときにコンピュータの電源がオフになっていることを確認してください
[Out of Range. Set Monitor to 1280 × 1024 @ 60Hz]と画面に表示される（LP1965 19インチ モデル）	ビデオ解像度やリフレッシュレートが、モニタがサポートするレベルを超えるレベルに設定されている	コンピュータを再起動し、Safeモードに入ります。設定値をサポートされている設定値に変更します（「表 B-4 LP1965モデルの工場出荷時のプリセット モード」を参照）。コンピュータを再起動し、新しい設定値を有効にします
[Out of Range. Set Monitor to 1600 × 1200 @ 60Hz]と画面に表示される（LP2065 20インチ モデル）	ビデオ解像度やリフレッシュレートが、モニタがサポートするレベルを超えるレベルに設定されている	コンピュータを再起動し、Safeモードに入ります。設定値をサポートされている設定値に変更します（「表 B-5 LP2065モデルの工場出荷時のプリセット モード」を参照）。コンピュータを再起動し、新しい設定値を有効にします

トラブル	原因	解決方法
[Out of Range. Set Monitor to 1920 × 1200 @ 60Hz]と画面に表示される（LP2465 24インチ モデル）	ビデオ解像度やリフレッシュレートが、モニタがサポートするレベルを超えるレベルに設定されている	コンピュータを再起動し、Safeモードに入ります。設定値をサポートされている設定値に変更します（「表 B-6 LP2465モデルの工場出荷時のプリセット モード」を参照）。コンピュータを再起動し、新しい設定値を有効にします
HP Display LiteSaverを使用してモニタの電源が切れない	Activity Extension（動作延長）時間が経過していない	デフォルトのActivity Extension値は10分に設定されています。HP Display LiteSaverは、モニタを省電力モードに移行する前に、Display Off（ディスプレイの電源切断）時間に達した後もキーボードからの入力やマウスの移動が連続して10分間検出されない状態になるまで待機します。たとえば、Display Off時間が現在の時刻から5分後に設定され、Activity Extensionが10分に設定されている場合は、Display Off時間が現在の時刻から5分後であっても、無操作のまま10分経過するまで実際にモニタの電源は切れません
	HP Display LiteSaverが、コンピュータ システムに対応していない可能性がある一部のノートブック コンピュータは対応しておらず、モニタ電源を制御できない	HP Display LiteSaverが、システムに対応していることを確認します 1. システム トレイの[HP Display LiteSaver]アイコンを右クリックします 2. メニューから[Power Off Display]（ディスプレイの電源切断）を選択します システムに対応している場合は、モニタ画面の電源が切れます。モニタの電源を再び入れるには、5秒待ってからマウスを動かします **注記** モニタの電源が切れなかった場合、コンピュータのグラフィック ドライバはHP Display LiteSaverソフトウェアに対応していません
モニタの電源は切れるが、省電力スリープ モードには移行していないように見える	モニタの省電力機能が無効になっている	モニタのOSDメニュー設定で、省電力機能の有効/無効を確認します。モニタを省電力モードに移行するには、この機能が有効に設定されている必要があります

インターネットWebサイト

テクニカル サポート情報、ユーザ自身によるトラブル解決に役立つツール、オンライン サポート、IT専門家のコミュニティ フォーラム、マルチ ベンダによる広範囲の知識ベース、監視および診断用ツールについては、http://www.hp.com/support/にアクセスして参照してください。

お問い合わせになる前に

トラブルシューティングの項目を参照しても問題が解決しない場合は、テクニカル サポートをご利用ください。テクニカル サポートをご利用いただく際に、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- モニタ
- モニタのモデル番号

- モニタのシリアル番号
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラー メッセージ
- ハードウェア構成
- 使用しているハードウェアとソフトウェアの種類

B 技術仕様

注記 すべての動作仕様はコンポーネントの製造元から提供されています。動作仕様とは、HPのコンポーネントの製造元すべての、通常のレベルの動作仕様のうち最も高い仕様を表します。このため、実際の動作レベルとは異なる場合があります。

LP1965モデル

表 B-1 LP1965モデルの仕様

ディスプレイ	19型	48.3 cm
タイプ	TFT LCD	
表示可能画像サイズ	19インチ（対角方向）	48.3 cm
傾斜角度	-5～30°	
回転角度	-45～45°	
最大質量（非梱包時）	17.2ポンド	7.8 kg
寸法（モニタ台を含む）		
高さ	14.9インチ	377.2 mm
奥行き	8.8インチ	223.0 mm
幅	15.90インチ	403.9 mm
最大グラフィクス解像度	1280×1024（75 Hz）アナログ入力	
	1280×1024（75 Hz）デジタル入力	
テキスト モード	720×400	
ドット ピッチ	0.294（縦）×0.294（横）mm	
水平周波数	24～83 kHz	
垂直周波数	48～76 Hz	
環境条件 動作保証温度：		
動作時	41～95°F	5～35℃
保管時	-4～140°F	-20～+60℃
相対湿度	20～80 %	

表 B-1 LP1965モデルの仕様 (続き)

電源	100～240 VAC、50/60 Hz	
動作保証高度： 動作時 保管時	0～12,000フィート 0～40,000フィート	0～3,657.6 m 0～12,192 m
消費電力（最大）	55 W未満	
入力端子	DVI-Iコネクタ（ケーブル付き）×2	

LP2065モデル

表 B-2 LP2065モデルの仕様

ディスプレイ タイプ	20.1型 TFT LCD	51 cm
表示可能画像サイズ	20インチ（対角方向）	51 cm
傾斜角度	-5～30°	
回転角度	-45～45°	
最大質量（非梱包時）	20.3ポンド	9.2 kg
寸法（モニタ台を含む） 高さ 奥行き 幅	16.7インチ 8.7インチ 17.4インチ	425.0 mm 220.0 mm 443.0 mm
最大グラフィクス解像度	1600×1200（75 Hz）アナログ入力 1600×1200（60 Hz）デジタル入力	
テキスト モード	720×400	
ドット ピッチ	0.258（縦）×0.258（横）mm	
水平周波数	30～94 kHz	
垂直周波数	48～85 Hz	
環境条件 動作保証温度： 動作時 保管時	41～95°F -4～140°F	5～35℃ -20～+60℃
相対湿度	20～80 %	
電源	100～240 VAC、50/60 Hz	
動作保証高度： 動作時 保管時	0～12,000フィート 0～40,000フィート	0～3,657.6 m 0～12,192 m

表 B-2 LP2065モデルの仕様 (続き)

消費電力（最大）	75 W未満	
入力端子	DVI-Iコネクタ（ケーブル付き）×2	

LP2465モデル

表 B-3 LP2465モデルの仕様

ディスプレイ	24.1型	61 cm
タイプ	TFT LCD	
表示可能画像サイズ	24インチ（対角方向）	61 cm
傾斜角度	-5～25°	
回転角度	-45～45°	
最大質量（非梱包時）	23.4ポンド	10.6 kg
寸法（モニタ台を含む）		
高さ	17.3インチ	440.0 mm
奥行き	9.1インチ	232.0 mm
幅	22.0インチ	558.4 mm
最大グラフィクス解像度	1920×1200（60 Hz）アナログ入力	
	1920×1200（60 Hz）デジタル入力	
テキスト モード	720×400	
ドット ピッチ	0.270（縦）×0.270（横）mm	
水平周波数	30～94 kHz	
垂直周波数	48～85 Hz	
環境条件 動作保証温度：		
動作時	41～95°F	5～35℃
保管時	-4～140°F	-20～+60℃
相対湿度	20～80 %	
電源	100～240 VAC、50/60 Hz	
動作保証高度：		
動作時	0～12,000フィート	0～3,657.6 m
保管時	0～40,000フィート	0～12,192 m
消費電力（最大）	110 W未満	
入力端子	DVI-Iコネクタ（ケーブル付き）×2	

プリセット ディスプレイ解像度について

次の表に示すディスプレイ解像度はこのモニタで使用される最も標準的なもので、デフォルトとして設定されています。モニタによってこれらのプリセット モードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

表 B-4 LP1965モデルの工場出荷時のプリセット モード

プリセット	ピクセル フォーマット	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
1	640×480	31.5	60.0
2	640×480	37.9	73.0
3	640×480	37.5	75.0
4	720×400	31.5	70.0
5	800×600	37.9	60.0
6	800×600	48.1	72.0
7	800×600	46.9	75.0
8	832×624	49.7	75.0
9	1024×768	48.4	60.0
10	1024×768	56.5	70.0
11	1024×768	60.0	75.0
12	1152×870	68.7	75.0
13	1152×900	71.7	76.0
14	1280×1024	64.0	60.0
15	1280×1024	80.0	75.0

表 B-5 LP2065モデルの工場出荷時のプリセット モード

プリセット	ピクセル フォーマット	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
1	640×480	31.5	59.9
2	640×480	37.5	75.0
3	640×480	43.3	85.0
4	720×400	31.5	70.1
5	800×600	37.9	60.3
6	800×600	53.7	85.1
7	832×624	49.7	74.6
8	1024×768	48.4	60.0
9	1024×768	60.0	75.0

表 B-5 LP2065モデルの工場出荷時のプリセット モード (続き)

10	1024×768	68.7	85.0
11	1152×870	68.7	75.1
12	1152×900	61.8	66.0
13	1280×960	60.0	60.0
14	1280×1024	64.0	60.0
15	1280×1024	80.0	75.0
16	1280×1024	91.2	85.0
17	1600×1200	75.0	60.0
*18	1600×1200	93.8	75.0
*アナログ入力のみ			

表 B-6 LP2465モデルの工場出荷時のプリセット モード

プリセット	ピクセル フォーマット	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
1	640×480	31.5	59.9
2	640×480	37.5	75.0
3	720×400	31.5	70.1
4	800×624	37.9	60.3
5	800×600	46.9	75.0
6	832×624	49.7	74.6
7	1024×768	48.4	60.0
8	1024×768	60.0	75.0
9	1024×768	68.7	85.0
10	1152×720	44.9	60.0
11	1152×870	68.7	75.1
12	1152×900	61.8	66.0
13	1280×768	47.4	60.0
14	1280×960	60.0	60.0
15	1280×1024	64.0	60.0
16	1280×1024	80.0	75.0
17	1280×024	91.2	85.0
18	1600×1200	61.7	60.0
19	1600×1200	75.0	60.0
*20	1600×1200	93.8	75.0

表 B-6 LP2465モデルの工場出荷時のプリセット モード (続き)

21	1680×1050	65.3	60.1
22	1920×108	67.2	60.0
23	1920×1200	74.0	60.0
*24	1920×1200	74.6	60.0
*アナログ入力のみ			

ユーザ モードの使用

次のような場合、ビデオ コントローラから送られてくる信号がプリセッ ト モードと一致しないことがあります。

- 標準グラフィックス アダプタを使用していない場合
- 標準グラフィックス アダプタを使用しているがプリセット モードを使用していない場合

このような場合、オンスクリーン ディスプレイ メニューでモニタのパラメータを再調整する必要があります。変更はどのモードにも適用でき、メモリに保存されます。モニタには新しい設定が自動的に保存され、これらのモードはプリセット モードと同様に自動的に認識されます。15のプリセット モード（LP1965モデル）、18のプリセット モード（LP2065モデル）、および24のプリセット モード（LP2465モデル）の他に、新たに4つのユーザ モードを登録して保存することができます。

エナジー セーブ機能

モニタが通常の動作モードのときは、モニタの消費電力はLP1965モデルで37 W未満、LP2065とLP2465モデルでは55 W未満になり、電源ランプが緑色に点灯します。

このモニタでは、省電力状態もサポートされます。水平同期信号と垂直同期信号の一方または両方が検出されない場合、モニタは省電力状態になります。このように信号が検出されない場合は、モニタの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色で点灯します。モニタが省電力状態になると、2 W未満の電力しか消費されません。短時間のウォームアップ後に通常の動作モードに戻ります。

エナジー セーブ機能の設定の手順について詳しくは、コンピュータに付属のマニュアルを参照してください（エナジー セーブ機能は、省電力機能、パワー マネージメント機能、節電機能など、マニュアルにより名称が異なる場合があります）。

注記 モニタの省電力機能は、エナジー セーブ機能を備えたコンピュータに接続されている場合にのみ有効です。

モニタのエナジー セーブ ユーティリティ内で設定値を選択すると、事前に決めた時刻にモニタが省電力状態になるように設定することもできます。モニタのエナジー セーブ ユーティリティによってモニタが省電力状態になると、電源ランプはオレンジ色で点滅します。

C　規定に関するご注意

Federal Communications Commission Notice（米国向け）

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules.These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio or television technician for help.

Modifications

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Hewlett Packard Company may void the user's authority to operate the equipment.

Cables

Connections to this device must be made with shielded cables with metallic RFI/EMI connector hoods to maintain compliance with FCC Rules and Regulations.

Declaration of Conformity for Products Marked with the FCC Logo (United States Only)

This device complies with Part 15 of the FCC Rules.Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For questions regarding the product, contact:

Hewlett Packard Company

P. O. Box 692000, Mail Stop 530113

Houston, Texas 77269-2000

Or, call 1-800-HP-INVENT (1-800 474-6836)

For questions regarding this FCC declaration, contact:

Hewlett Packard Company

P. O. Box 692000, Mail Stop 510101

Houston, Texas 77269-2000

Or, call (281) 514-3333

To identify this product, refer to the Part, Series, or Model number found on the product.

Canadian Notice（カナダ向け）

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Avis Canadien

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

European Union Regulatory Notice（欧州連合向け）

This product complies with the following EU Directives:

- Low Voltage Directive 73/23/EEC
- EMC Directive 89/336/EEC

Compliance with these directives implies conformity to applicable harmonized European standards (European Norms) which are listed on the EU Declaration of Conformity issued by Hewlett-Packard for this product or product family.

This compliance is indicated by the following conformity marking placed on the product:

This marking is valid for non-Telecom products and EU harmonized Telecom products (e.g. Bluetooth)	This marking is valide for EU non-harmonized Telecom products. *Notified body number (used only if applicable — refer to the product label).

German Ergonomics Notice（ドイツ向け）

HP products which bear the “GS” approval mark, when forming part of a system comprising HP brand computers, keyboards and monitors that bear the “GS” approval mark, meet the applicable ergonomic requirements.The installation guides included with the products provide configuration information.

日本向け

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

Korean Notice（韓国向け）

B급 기기 (가정용 정보통신기기)

이 기기는 가정용으로 전자파적합등록을 한 기기로서
주거지역에서는 물론 모든지역에서 사용할 수 있습니다.

電源コードの要件

このモニタの電源には自動ライン電圧切替機能（ALS）が付属しています。この機能によって、モニタは100～120 Vまたは200～240 VのAC電圧で動作します。

このモニタに付属の電源コードおよびプラグは、電気用品安全法に適合しており、日本国内でご使用いただけます。

お買い上げの製品を海外でお使いになる場合は、その国で認定された電源コードをお買い求めください。

電源コードは、製品のラベルに記載された電圧と電流の定格に適合したものでなければなりません。ラベルに記載されている値より大きい定格のコードを使用してください。また、ワイヤの直径は0.75 mm²/18 AWG以上、長さは1.8～3.6 mでなければなりません。使用する電源コードの種類については、HPのサポート窓口までお問い合わせください。

電源コードの上には物を置かないでください。また、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように、プラグ、コンセント、および製品側の電源コネクタの取扱いにも注意して配線してください。

日本国内での電源コードの要件

この製品を日本国内で使用する場合は、製品に同梱されていた電源コードのみをお使いください。

△ **注意** 同梱されていた電源コードを、他の製品で使用しないでください。

製品環境に関するご注意

有害物質の破棄

このHP製品には、廃棄の際に特別な処理を必要とする水銀が液晶ディスプレイの蛍光ランプに含まれています。

これらの物質の廃棄には環境保護のための規定が設けられている場合があります。廃棄またはリサイクルについての情報は、お住まいの地域の自治体またはEIA（Electronic Industry Alliance）（http://www.eiae.org/）にお問い合わせください。

Disposal of Waste Equipment by Users in Private Household in the European Union（欧州連合向け）

This symbol on the product or on its packaging indicates that this product must not be disposed of with your household waste.Instead, it is your responsibility to dispose of your waste equipment by handing it over to a designated collection point for the recycling or waste electrical and electronic equipment.The separate collection and recycling of your waste equipment at the time of disposal will

help to conserve natural resources and ensure that it is recycled in a manner that protects human health and the environment.For more information about where you can drop off your waste equipment for recycling, please contact the local city office, the household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

製品の部材表示について

A Japanese regulatory requirement, defined by specification JIS C 0950, 2005, mandates that manufacturers provide Material Content Declarations for certain categories of electronic products offered for sale after July 1, 2006. To view the JIS C 0950 material declaration for this product, visit http://www.hp.com/go/jisc0950.

2005年、日本における製品含有表示方法、JISC0950が公示されました。製造事業者は、2006年7月1日以降に販売される電気・電子機器の特定化学物質の含有につきまして情報提供を義務付けられました。製品の部材表示につきましては、*http://www.hp.com/go/jisc0950*を参照してください。

D LCDモニタの品質およびピクセルに関する方針

このTFTモニタは、トラブルが発生しない高い性能を保証するために、高精度の技術を使用し、HPの製造基準に基づいて製造されています。それでもなお、ディスプレイに小さな輝点、暗点、または黒点が現れるという外見上の欠陥が発生する場合があります。これはどのメーカーから提供されるLCDディスプレイにも共通するもので、HP製のLCDに特有の問題ではありません。1つ以上のピクセルまたはサブピクセルに欠陥がある場合、この問題が発生します。

- 1ピクセルは、赤、緑、青のサブピクセル1つずつから成ります。
- 欠陥のあるピクセル全体は常に点灯している（暗い画面に輝点が表示される）か、常に消灯しています（明るい画面に暗点が表示される）。点灯しているピクセルは、よりはっきりと確認できます。
- 欠陥のあるサブピクセル（欠陥ドット）は、欠陥のあるピクセル全体より見えにくく、小さいため特定の画面背景上でのみ確認できます。

HP製のディスプレイに見られる欠陥は、最大でも次のとおりです。

- 3つの輝点
- 5つの暗点
- 合計5つの輝点と暗点
- 最大2つの、隣接する欠陥のあるピクセル（全体の幅が2.5 mm未満）

欠陥のあるピクセルを確認するには、モニタを通常の動作環境、通常の動作モード、およびサポートされる解像度とリフレッシュ レートで使用し、画面から50 cmほど離れた位置で見ます。

業界での技術改良が進み、外見上の欠陥が少ないLCDが生産されるようになることが期待されます。HPでは、製品の改良に合わせてガイドラインを調整していく予定です。